

第 60 回東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ： 内視鏡業務に関するグループディスカッション「ワールドカフェ形式」

開催日： 2024年7月6日（土）14：00～16:00

会場： 五反田文化会館 1階

出席者： 12名（世話人含む）

今回のグループディスカッションは、初めての試みの「ワールドカフェ形式」を取り入れて行いました。ワールドカフェとは、「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、ほかのテーブルのメンバーとシャッフルして対話を続けることにより、参加して全員の意見や知識を集めることができる対話の手法の一つです。

初めに進行役（ファシリテーター）の堀川さんよりワールドカフェの説明があり、テーブルごとのホストを決めます。ホストは動かず他メンバーは旅人となり時間で各テーブルを回っていきます。



ファシリテーターの堀川さんの自己紹介から始まりました。テーブルごと各自自己紹介を行ってから「**どんな内視鏡業務及び、内視鏡看護だったら良いか**」のテーマに、各テーブルの模造紙に、カラフルなペンで思ったことを何でも書いていきます。ほかの人が話したこと書いたことに共感したり、自施設での問題や改善したいこと、自分が思っている内視鏡看護など、単語でも文章でも絵でもおしゃべりをしながら書いていきます。

最後は、元のテーブルに戻り旅で回ったテーブルごとの話し合いや、自分の中の気づきや思いなど付箋3枚ほどに書きます。そして模造紙に張り、終了です。

各テーブルの模造紙を前のボードに貼りだして書き込みをみんなで閲覧。答えを求めるものではないのでそれぞれの思いや気づきの中、内視鏡看護のこと、鎮静のこと、職種間連携のこと、内視鏡室のレイアウトなどが書かれ、うなずきながら見ていました。

<ご意見・感想>

- ・グループディスカッションが慣れていないので、勉強になりました。
- ・今回初めてワールドカフェ方式を体験させてもらいました。緊張しましたが楽しさも感じられました。
- ・他院の安静解除の方法、洗浄室のレイアウトなどが聞くことができ、とても参考になりました。

世話人からも、「いろんな思いがかいてあった」「書いて見えてくるものがあった」「初めてだけど盛り上がった」「人数が少なかったけど良かった」「人数が多いとテーマが色々出てくる」など感想がありました。



次回、第 61 回は NTT 東日本関東病院の臨床工学技士、田中大夢先生による「内視鏡処置具の基本的な使用方法」の講義の予定です。処置具の特徴や使用時のコツなどノウハウを教えてください。

文責：中森節子